米作り体験隊（１０）　　＊＊　稲の成長　８　＊＊　　（２０１５．１０）

　ご紹介したように、平塚市は神奈川県下有数の米どころです。
どこまでも広がる大水田地帯であること。お分かりいただけると思います。

　小田原厚木道路の平塚インター手前、陸橋からの撮影です。
　遠くに「高麗山から湘南平」を望めます。その向こう、南側が湘南の海になります。
　左手が平塚の市街です。湘南ベルマーレの本拠地・グランドは相模川に隣接しています。

１日の夜半、平塚市を「爆弾低気圧」が通過し、台風並みの風雨に見舞われました。翌朝、私たちの田んぼが気がかりで、出かけてみました。強風のため広い範囲にイネが倒れていないかが心配でしたが、ご覧のとおり、中央部分の黒い影二か所、稲が横向きなっていますが、大きな被害はありませんでした。あの強風と雨に耐えていました。　「キヌヒカリ」が、強い耐倒性を証明いているようです。

近くでは、このように完全に倒れてしまっている水田もありました。

機械での刈り入れに支障はないのかな。

刈り入れが終わっている水田もあります。仕事の終わった「コンバイン」が天候待ちの、一休みでしょうか。　　明日は土曜日、天気予報は晴れ、大忙しになりそうです。

花菜ガーデン園内の水田は刈り入れも終了し、イネの天日干しです。遠くに「大山」が顔をのぞかせています。

この水田は、ご夫婦で管理しています。
私たちと同じように「手植え」、機械は使いません。
刈り入れは、小型の機械（一条ずつの刈入）が使われ、イネは天日に干されます。

『このようにすることで、本当に、うまい米ができる』　作業しているご夫婦の言葉です。

１０月になりました。「私たちの田んぼ」の収穫は、あと僅かです。
鎌を使っての稲刈りは？　アマガエルは？　収穫量は？　ご飯のお味は？　　楽しみがあふれます。